

【「日刊工業新聞」掲載のお知らせ】

2021年10月29日の日刊工業新聞にて「SPK新たな変革に挑戦、モビリティビジネスのグローバル総合商社へ」の記事が掲載されましたのでお知らせいたします。

日本の トップランナー企業

脱炭素車への対応

「脱炭素車」は、新しい脱炭素ビジネスと名付けられ、その成長は、社会から求められた2030年以降の目標達成に向けて、SPKがグローバルから超グローバル企業へと成長していることを示した。その中で、中核的産業として、脱炭素車（EV・FCV）の成長が期待されている。SPKは、この成長を捉え、脱炭素車への対応を加速している。また、脱炭素車への対応は、SPKの成長戦略の重要な要素である。SPKは、脱炭素車への対応を通じて、新たな成長機会を捉え、グローバル総合商社へと成長している。

**バックボーンに
近江商人の精神**

同社もともとは伊藤ハシの近江商人の「三方良し」の精神を継承し、その系譜をたどって、大阪で最初の外資系自動車部品メーカーとして創業した。その後、脱炭素車への対応を通じて、新たな成長機会を捉え、グローバル総合商社へと成長している。



▲ 中野一寿社長

DX推進でユーザーの満足度向上へ

DX推進は、ユーザーの満足度を向上させるための重要な手段である。SPKは、DX推進を通じて、ユーザーの満足度を向上させ、新たな成長機会を捉えている。また、DX推進は、SPKの成長戦略の重要な要素である。SPKは、DX推進を通じて、新たな成長機会を捉え、グローバル総合商社へと成長している。



▲ VISION2030 中期経営計画

**めじろ押し改革
新事業にも注力**

めじろ押し改革は、新事業にも注力するための重要な手段である。SPKは、めじろ押し改革を通じて、新事業にも注力し、新たな成長機会を捉えている。また、めじろ押し改革は、SPKの成長戦略の重要な要素である。SPKは、めじろ押し改革を通じて、新たな成長機会を捉え、グローバル総合商社へと成長している。

日刊
THE NIKKAN
工業
KOGYO SHIMBUN
新聞
10月29日 金曜日
2021年(令和3年)

SPK

**新たな変革に挑戦
モビリティビジネスのグローバル総合商社へ**

※ 本記事は本サイトにのみ掲載が承認されています。複写(転用・転載)はご遠慮下さい。

【ニュースリリースに関するお問い合わせ先】
SPK株式会社 IR・広報室

〒553-0003
大阪市福島区福島5丁目5-4
TEL 06-6454-2578
FAX 06-6454-2494
kouhou@spk.co.jp